

佳作
(高校部門)

岡山県立玉島商業高等学校 2年
岩崎 いわさき 詩乃 しの

「おまえ、もう『中辛』なのか？」(中略)

「そうかあ、ひろしも『中辛』なのかあ、そうかそうか」

(重松清「カレーライス」より)

この物語を、小学校六年生の国語の授業で初めて読みました。担任の先生からの宿題で、週末を使って弟とふたりでカレーライスを作りました。私と弟が母に、「もう中辛でいいよ」と言いました。その時の母の少しうれしそうな顔が、今でも忘れられません。自分の子どものちよつとした成長は、誰でもうれしいものなんだな、と感じました。

今でもたまに、弟とふたりでカレーライスを作ります。もう「中辛」には慣れましたが、私は唐辛子やわさびなどの辛いものが苦手です。それも克服して、母といっしょに喜びたいです。いつか私に子どもができた時は、その子の成長を喜びたいと思います。

出典

「カレーライス」重松清・著 光村図書 小学校「国語」